

ニューズレター雪氷北信越

No. 77 2001年2月10日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

< 告知 >

- ・第14回北信越支部総会および研究発表会・製品発表検討会（5/19, 加賀市）

< 報告 >

- ・雪に備える講演会（12/5, 福井市）
- ・新潟・長野地区見学会（1/12, 新潟市）

< その他 >

- ・支部賞受賞候補者推薦の申し出について
- ・「雪氷北信越 21 号」発行のお知らせと自由投稿文・広告の募集

< 告知 >

第14回北信越支部総会および研究発表会・製品発表検討会のお知らせ

日時 : 2001年5月19日（土）

なお、同会終了後懇親会を予定しています。

場所 : 石川県加賀市中央公園内 セミナーハウスあいりす

参加費 : 無料

予稿集 : 発表予稿集掲載の「雪氷北信越 21 号」を当日配布します。

（日本雪氷学会北信越支部会員：無料，非会員：1000円）

参加申込等の要領：

参加申込・発表申込 4月16日(月) 必着

予稿原稿提出 4月16日(月) 必着

原稿執筆要領

原稿は「雪氷北信越21号」にそのまま印刷されますので、以下の点に留意して作成して下さい。

- ・予稿は1ページとします。
- ・A4版上質紙を用い、左右に各20mm、上下に各34mmの余白をとり（印刷範囲は縦229mm，横170mm）、この内部に収まるように印字して下さい。特に禁則処理等によるはみ出し

には注意して下さい。

- ・ 原稿は約88%に縮小して印刷されますので、これを考慮して読みやすいように字の大きさ等を調整して下さい。概ね 1 行48文字、 1 ページ42行以内が目安です。
- ・ 第 1 行目の中央にタイトルを、第 2 行目に氏名と所属を右詰めで書き、 1 行あけて本文を書き出して下さい。
- ・ 締切りを過ぎて到着した原稿は「雪氷北信越21号」には掲載できませんのでご注意下さい。

送付先：943-0193 上越市稲田1-2-1 北陸農業試験場 気象資源研究室 横山宏太郎
Tel.: 0255-26-3234/ fax: 0255-24-8578

< 報告 >

平成12年雪に備える講演会 「道路と橋面の凍結抑制技術」主催 福井雪害対策

研究会 / 福井県雪技術研究会 / 福井県雪対策・建設技術研究所

後援 (社)日本雪氷学会北信越支部

期日 平成12年12月5日(火)

場所 福井大学地域共同研究センター

講演

路面凍結の実用的数値シミュレーションと蓄熱材による鋼床版橋の凍結抑制

福井県雪対策・建設技術研究所 主任研究員 宮本 重信

ヒートポンプを利用した融雪システムの概要と事例紹介

(株)前川製作所 弘前営業所 課長 三浦 雅彦

参加者 40名

自然・未利用熱エネルギーを利用した雪対策技術が注目され普及しつつある。それらについて、土木建設または生活環境技術としての議論を深める必要がある。先の講演は、橋梁の凍結抑制に的を絞ったものであり、後の講演では、東北地方を中心にした豊富な施工事例の紹介があった。2つの講演をあわせて、放熱管の埋設深さとプレヒーティングの関係、放熱管の材料、地下水の還元などについての質疑応答があり、まさにマトを絞った議論を必要としているといえる。

杉森理事 記

< 報告 >

新潟・長野地区見学会「道路の除雪とIT技術の応用」

日時：2001年1月12日（金）午後

見学箇所：国土交通省 新潟国道事務所

（情報管理室、機械除雪基地、工事中の万代橋下流橋、ビッグスワン（外観））

当日は、約20名の参加があり、北は北海道から東京、富山と、遠方から参加された方もいた。あいにく新潟市は積雪がなく、実際の除雪作業を見ることはできなかったが、情報管理室においては一日14万台の交通量に対応した除雪体制を支える除雪システムや、職員への情報徹底や住民への情報の提供のためのITプラットフォームシステムを見学した。2002年サッカーワールドカップが開かれるビッグスワンは外観のみの見学であったが、ワールドカップ当日の交通規制などの話があった。続く「道の駅豊栄」では、除雪車・凍結防止剤散布車を間近にし、新しく導入された大型車のスタッドレスタイヤを見ることができた。

万代橋下流橋（仮）では、建設現場に入らせていただき、5,6階建てのマンションほどの大きさもある橋脚の施工の様子を見学した。完成は2002年のワールドカップにあわせた計画である。

国土交通省 みちナビ新潟URL：<http://www.2159.go.jp/index.html>

新潟大学積雪地域災害センター 堀江宏伸 記

< その他 >

支部賞受賞候補者推薦の申し出について

支部賞受賞候補者の推薦には、支部の理事および評議員が下記の項目について記載して支部事務局へ提出することとなっております。本年度の締切りは3月30日（金）といたします。候補者にお心あたりの方は、期限に間に合うようにお近くの理事あるいは評議員へお申し出下さい。

- (1)雪氷技術賞，大沼賞，雪氷功労賞の区別．
- (2)推薦者の氏名，所属，職名．
- (3)受賞候補者の氏名．

(4)推薦理由書（受賞候補者の功績などの受賞表題をあげ、800 字程度にまとめたもの）
上記の理由書を証明する関係書類があれば添付する。

< その他 >

「雪氷北信越 21 号」発行のお知らせと自由投稿文・広告の募集

北信越支部編集委員会では 2001 年 5 月 19 日に「雪氷北信越 21 号」の発行を予定しています。つきましては下記のとおり、随筆・評論的な自由投稿文を募集しますので、奮ってご投稿下さい。

1. 締切り：2001 年 4 月 16 日(月)必着
2. 字数：3000 字程度（用紙は自由ですが、なるべく予稿の執筆要領（1 ページ参照）に合わせるか、あるいは電子メールかフロッピー（テキストファイル、または MS-WORD か一太郎）で頂けるとありがたいです。）

また、同誌に掲載する広告を募集しますのでご連絡下さい。

問い合わせ・連絡先：予稿原稿送付先と同じです（北陸農試）。

なお、次号のニューズレターは2001年4月10日発行予定です。こちらの原稿は3月20日頃までにお送り下さい。

日本雪氷学会北信越支部ニューズレター

原稿送付・問い合わせ先：小南靖弘，横山宏太郎

〒943-0193 新潟県上越市稲田1-2-1 北陸農業試験場 水田利用部 気象資源研究室
tel.: 0255-26-3234 / Fax: 0255-24-8578 / E-Mail: met@inada.affrc.go.jp